

様式1 令和元年度 山梨県立甲府城西高等学校 学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針 何事にも主体的に取り組み、創造する力と豊かな人間性を身につけ、社会に貢献する生徒を育成する。

山梨県立甲府城西高等学校校長 永田 典弘

本年度の重点目標	1 主体的に学び続ける力を育む。(主体性)	達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	2 創造力を高める思考力・判断力・表現力を育む。(創造性)		B 概ね達成できた。(6割以上)
	3 心身を鍛え、豊かな人間性を育む。(人間性)		C 不十分である。(4割以上)
	4 規範意識を高め、社会性を育む。(社会性)		D 達成できなかった。(4割以下)
	5 社会の情勢を意識し、主体的に社会と関わる態度を育む。(協働性)		

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価			
本年度の重点目標		年度末評価(2月17日現在)	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	主体的に学び続ける力を育む	①学習指導の工夫・改善に努め、自ら学び、考える力を育む。	理解度に応じた指導の充実、相互授業参観の活性化
		②授業を通して4つの力(理解する力、収集する力、まとめる力、伝える力)を育む。	各教科の授業改善による4つの力の向上
		③体験的な学習を重視し、興味・関心・意欲を高め、学び続ける力を育む。	産社・総学等における体験的学習の充実
		④目的意識を持って行動する態度を育む。	目標をたて、主体的な取組を行うための振り返りを徹底
2	創造力を高める思考力・判断力・表現力を育む	①全ての教育活動において指導の狙いを明確にし、「主体的・対話的で、深い学び」の実現に努める。	授業改善のための授業目標の提示と生徒の自己評価の実施、指導時のICT機器の活用
		②資格取得を奨励し、専門性の高い実践力を育む。	系列別授業の充実、系列科目の積み上げによる資格取得の推進
		③基礎的・基本的な知識や技能を身につけさせ、進路実現に結びつける。	実力診断テストの活用、課外の充実、ICTを活用した学習習慣の確立
3	心身を鍛え、豊かな人間性を育む	①自己を正しく理解し、在り方・生き方について考えさせる取り組みを実践する。	自己理解、生き方・在り方を考える機会の充実
		②部活動を通して心身の健康や健全な人間関係を築く力を育む。	部活動における技術技能の向上・人間性の育成
		③教育活動全体を通して、道徳教育の充実を努める。	LHRでの計画的な道徳教育の実践、いじめ未然防止の徹底
4	規範意識を高め、社会性を育む	①基本的な生活習慣を確立させる。	遅刻指導、あいさつ運動の充実
		②社会人として必要なルール(規則)やマナー(礼儀)を身につけさせる。	服装・髪型指導の徹底、自転車やバイクなどの交通マナー指導の充実
5	社会の情勢を意識し、主体的に社会と関わる態度を育む	①NIEを活用して社会の情勢を知り、自らの意見をもつことができるようにする。	授業やHRなどでの新聞の活用
		②キャリア教育の充実を図り、個々の進路に向けての意識づけを行う。	総学やLHRなどでの進路意識を高める指導の充実
		③文化・伝統・芸術に触れ、豊かで健全な情操を育む。	芸術鑑賞会や美術館見学などの機会の確保

学校関係者評価	
実施日(令和2年3月5日)	
評価	意見・要望等
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年、保護者が見学できる公開授業に参加し、生徒が選択できる授業が豊富で非常に良いことだと思った。ただ、生徒の授業意欲は、相対的に少し薄いように感じた。生徒の興味関心を尊重し、個々の主体性を高める環境をより一層、充実させていきたい。 ○ 相互授業参観は大変よい試みと思う。 ○ 地場産業を理解するような授業や体験学習に更に力を入れていただきたい。 ○ 甲府開府500年記念事業の一環として、池田地区連合自治会が昨年作成した【池田地区の歴史、そして「今」】を活用していただきたい。池田地区の歴史的遺産、神社仏閣などが簡潔にまとめられている。 ○ 「④目的意識を持って行動する態度を育む」はHRや学校行事に限らず、1コマの授業においても育むことが大事と思う。何のために何を学ぶのか、実際に何を学んだのが重要となる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ ①に含まれる質問に関連して、授業の中でICTを使うことは大事だが、ICTを活用しなくても良い授業は可能である。逆にICTをよく活用しているからといって良い授業であるとは限らない。授業の中でICTが効果的に活用されていることが大事である。 ○ 身につけた技術・技能に自信をもって、社会に出られるようにサポートしていただきたい。 ○ 系列の特色を生かして、生徒の意識向上を目指していただきたい。 ○ 通常の就職先の現場では、ワード・エクセル・パワーポイントなどが使いこなせないと。高校生でもパワーポイントを駆使して上手に発表している姿を見ると、プレゼン能力は、若いときから場数を踏んで体験させることで育つと思う。授業の中で、生徒に発表させる場を作っていくとは、社会に出てから非常に役立つと考える。 ○ 資格取得は本人の自己啓発として非常に役立ち、意欲的に対応することが必要と考える。しかし、あまりに資格取得のみに固執しないように指導していただきたい。なお、簿記は企業の業績を評価する仕組みがわかるようになり、いろいろな場面で役立つと思うので、簿記検定の取得を進めてほしい。 ○ ③に含まれる質問に関して、ICTを活用しても学習習慣を確立できている生徒がいる場合、評価が低くなりかねない。学習習慣の確立が主目的であると明確になる設問の工夫が必要がある。 ○ すべての項目で、否定的評価(C、D)の理由を分析することが必要と思う。
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育・文化部あわせて、入部率87%という状況は非常に素晴らしい。引き続き充実した部活動への重点的な対応をお願いしたい。また、一方では先生方の働き方改革の中で、外部指導者の活用など、改革できることを進めてほしい。 ○ 野球部、女子バスケットボール部、テニス部など多くの体育系部活動でベスト8以上の実績を残し、1日頃の練習成果が実っている。特にライフル射撃部、アーチェリー部は関東大会、全国大会で上位となっていて素晴らしい。部活動の成果は人間関係力の育成に役立っていると思う。 ○ 部活動は所属しない生徒もいるので、「心身の健康や健全な人間関係を築く力」は、まずは課内で育むことが明確にしてほしい。 ○ いじめ対策は、道徳教育(生徒の心の問題)だけでなく、法教育(社会のルールの問題)も取り入れるといいと思う。
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ すれ違う生徒のあいさつは良くできていると感じた。服装や生活態度のチェックなど、力を入れた対応をしていただき、甲府城西高校として「あいさつができて好印象な生徒」というカラーを伸ばしてほしい。 ○ 身だしなみ、あいさつ、どちらも全体的に良いと思う。 ○ あいさつ、整理整頓、時間を守る。などの日常生活における基本的な事項は特に重要と思う。学校として、重点的取り組みをお願いしたい。 ○ 具体的方策①では、遅刻指導には成果が出ているが、早退は問題になっていないのかどうか気になる。 ○ 具体的方策②「社会人として必要なルール」には、法も含めて行ってほしい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「NIEを活用して社会の情勢を知り、自らの意見をもつ」では、法教育や政治教育も充実させてほしい。経済や労働に関する教育もより充実させてほしい。また、①-③④(体験的な学びの重視、目的意識をもった行動)とも関連するので、一方でAと評価した人が他方で何と評価したのか、相関がわかると現状をより立体的に評価できる。 ○ 新聞の活用は非常に良いと思う。1年生が行った「まわし読み新聞」などで新聞への理解を深めており、活字離れが進む現代では効果的取り組みと思う。 ○ インターシッポの充実も更にお願したい。 ○ 生徒が就職して、給与明細の天引き内容が良く理解できるように、税金・年金・各種保険の仕組みなどの授業を積極的に取り入れてほしい。 ○ 浄瑠璃などのあまり触れない伝統文化に接する機会があればいいと思う。